

2011年3月13日
OMソーラー株式会社

自立運転型ハンドリングをご利用の方へ

太陽電池により運転する自立運転型ハンドリングご利用のお客様には、コンセントを停止しても、ハンドリングが停止しません。こちらの手順に従いシステムの停止を行ってください。

注意

制御盤内部には、高電圧の部分があります。

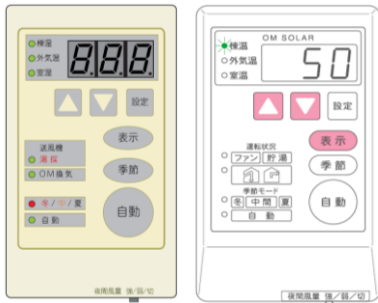
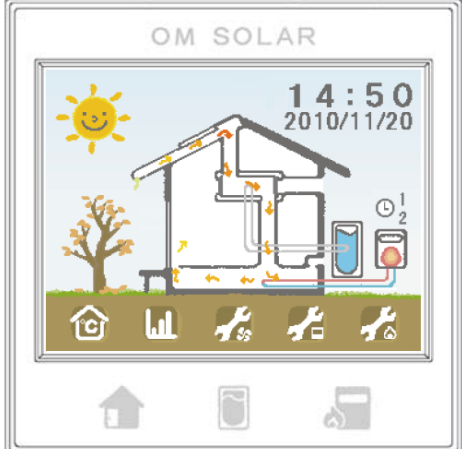
コンセントを抜いても、太陽電池が接続されている場合には、感電の恐れがあります。基盤の金属部分などに触れないよう十分ご注意ください。

お願い

なお本措置は、緊急時における対処方法を示したものです。

事態の収束に伴い、OMソーラーを復旧させる方法につきましては、建物を施工された工務店またはOMソーラー株式会社までお問い合わせください。

■製品イメージ

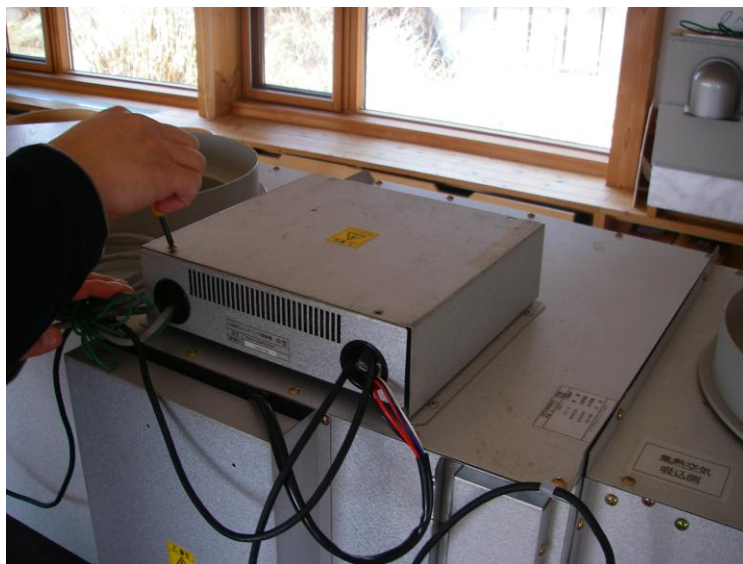
	小型リモコンタイプ	タッチパネルリモコンタイプ
出荷時期	2010年夏頃まで	2010年夏ごろから
リモコンイメージ		

取り外し手順

1. はじめに、ハンドリングボックスの運転を「手動・冬」モードにします。

■小型リモコンの場合	■タッチパネルリモコンの場合
<ol style="list-style-type: none">2. 自動ランプが点灯している場合には、自動ボタンを押して消灯します。3. 季節ボタンをおして冬モード（赤ランプ）に変更します。	<ol style="list-style-type: none">2. 運転設定（1/4）画面を表示します。 初期表示から中央のボタンを押すと表示されます。3. 「自動」と表示されている場合には、「自動」をクリックして「手動」を表示させます。 「冬」以外の場合は、「冬」ボタンを押し「冬」モードにします。 <div data-bbox="906 801 1267 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"><p>運転設定 (1/4)</p><p>運転切替 手動 冬 中間 夏</p><p>室内循環 OFF [OFF] [扇形] [扇形] [扇形]</p><p>室内排気 OFF [OFF] [扇形] [扇形] [扇形]</p><p>外気取込 OFF [OFF] [扇形] [扇形] [扇形]</p><p>[家] [リセット] [リセット]</p></div>

4. ハンドリングボックス上部の制御盤のフタを、プラスねじ（4本）を外すことによりあける。（形状が異なる場合があります。）

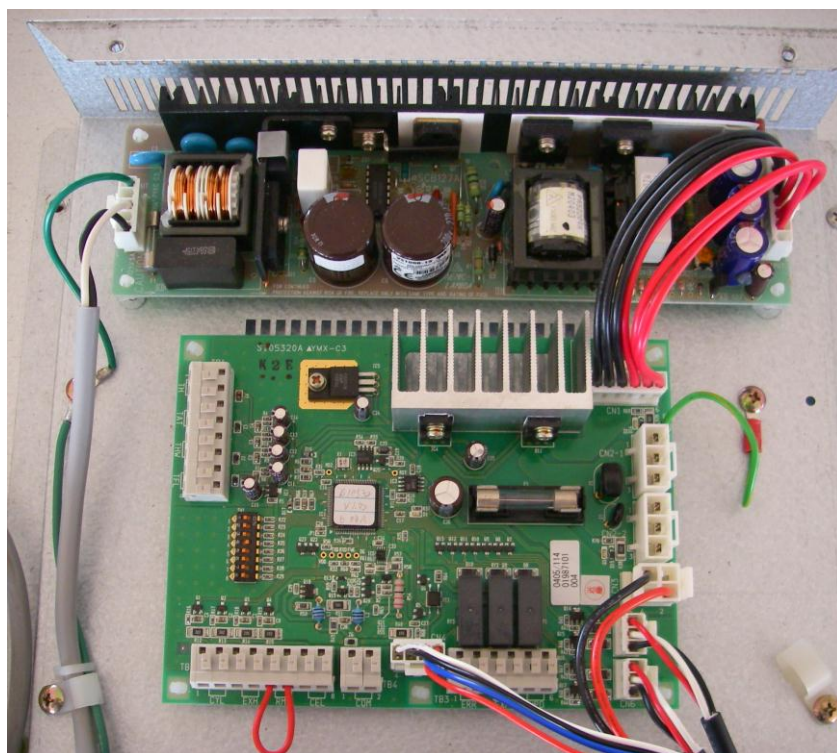


5. 内部にある基盤の「リモート」と記載のある端子のケーブルを外します。
以下の制御盤毎の記述をご確認ください。

■小型リモコンの場合

制御基板の「RMT」と記載のある端子にジャンパー線（短いループ状の導線）が取り付けられています。ジャンパー線が取り付けられている端子台のボタンを押しながら、ジャンパー線をを取り外します。

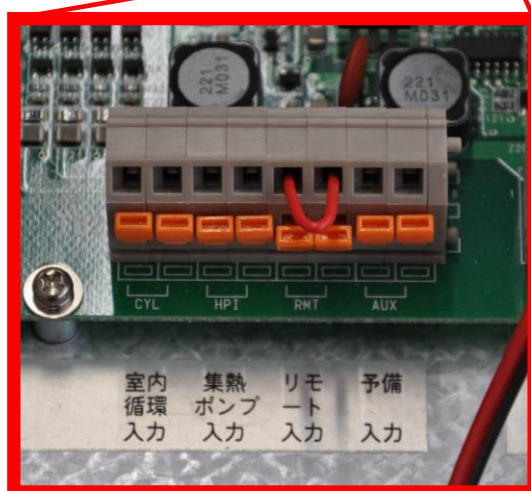
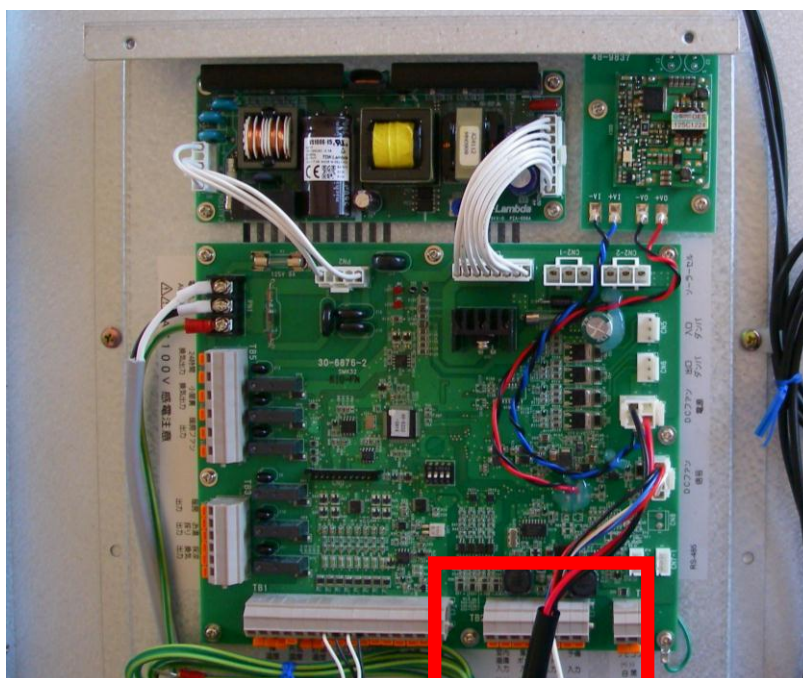
ジャンパー線が外れている間は、すべての運転が停止されます。ジャンパー線はなくさないように、テープなどでハンドリング本体等に張り付けておいてください。



6. 事態が収束した折には、ジャンパー線を元に戻し、温度設定を行ってください。

■タッチパネル型リモコンの場合

制御基板の「リモート」と記載のある端子にジャンパー線（短いループ状の導線）が取り付けられております。ジャンパー線の取り付けられている端子台のオレンジ色のレバーをマイナスドライバーなどで、手前に押し下げることにより、ジャンパー線を取り外します。ジャンパー線が外れている間は、すべての運転が停止されます。ジャンパー線はなくさないように、テープなどでハンドリング本体等に張り付けておいてください。



6. 事態が収束した折には、ジャンパー線を元に戻し、温度設定、時刻設定を行ってください。